



美しい石積み棚田の里だより

第23回全国棚田（千枚田）サミットに参加して

坂折棚田で全国棚田（千枚田）サミットが開催されたのは、平成15年（第9回）です。第23回は、9月28日～29日に、長崎県波佐見町で開催され、全国から約680人が参加しました。

「棚田は21世紀の社交場」～棚田で出会う、触れ合う、分かち合う～をテーマに、開会セレモニー、分科会、現地見学会が行われました。分科会は、3つに分かれており、棚田を活用した町おこしや中山間地域の担い手などについて意見交換されました。

第1分科会「迎えよう！社交あふれる美しい棚田で」

第2分科会「出掛けよう！社交を求め楽しい棚田へ」

棚田女子会「社交性を発揮！おいしい棚田のおもてなし」

その他にも棚田まもりびとミーティング、首長会議、国際分科会「世界の傾斜農地と棚田」についても話し合いが行われました。

坂折棚田保存会からは、理事長ほか3名が出席し、第2分科会に参加しました。現地見学会は、日本棚田百選 鬼木棚田でした。波佐見町は、古くから陶磁器の産地で波佐見焼として有名なところで、美濃焼より早くから陶磁器の産地であったとの説明を受けました。

さて、鬼木棚田は波佐見焼里に隣接した棚田で、石積みの棚田でした。標高100m～400m、耕作されている棚田は400枚、鬼木棚田の石積みに使われている石は、棚田造成時に地中から出てきたものを使っているそうです。鬼木棚田見学コースには、時代を風刺する案山子（人形）が並んでおり、見学者を楽しませていました。



次回、第24回は長野県小谷村で行われます。

第12期オーナー制度 無事終了しました！

育てた米、自分で稲刈り 9月30日～10月1日

涼しい風が吹いて爽やかな秋晴れの中、オーナー約200名が稲刈り作業に参加しました。「はざかけ」して天日干しするとお米がおいしくなる説明を聞いたあと、カマで刈ったイネを、一つ一つ丁寧にはざにかけました。仲間たちと気持ちのいい汗をかきました。稲穂も順調な発育で今年も良いお米が収穫できました。



秋の楽しみ収穫祭 10月21日

収穫の喜びを田の神様に感謝する収穫祭（かりかぶ祭り）を、オーナーの方々と地元農業者と一緒に楽しみました。雨のため、コミュニティセンターの駐車場で行われましたが、大勢参加してくださいました。いもごね餅、栗ご飯、棚田汁などがふるまわれ、行って来たなだ隊が「オーナーの自己紹介」や「ジャンケン大会」など新しい企画を考えてくれ、楽しい収穫祭になりました。



田口理事長とジャンケン



手作りいもごね餅

オーナーの皆さんのご協力と農家の皆さんのご努力下、今年も無事に秋の収穫まで終えることができました。会員さんやオーナーさんの存在が、地元農家さんの励みになります。

第13期オーナー制度 募集が始まります！



来年度もオーナー制度を行います。ご本人はもちろん、お友達、お知り合いにぜひおすすめしてください。

棚田オーナーとは、地元農家の皆さんにレクチャーを受けながら、田植え・稲刈りなどの農作業体験や収穫物の提供が受けられる制度です。棚田オーナーになることで、棚田保全の一躍を担うこともできます。興味のある方は保存会事務所にお尋ねください。

フェイスブックで情報発信に力を入れています！

一人でも多くの方に坂折棚田に関心をもってもらうため、フェイスブックで田んぼの様子やイベント情報、田口理事長の雑学などを紹介しています。

QRコードを読込むか、検索エンジンで検索してみてください。

坂折棚田
facebook



Google

坂折棚田 facebook

お客様からのコメント

棚田を見ると癒されます。この日本の原風景は後世に残したいですね～ (^o^☆♪。



日本の農村、里山風景の原点ですね!? 狭い耕作地に稲作を続けられる集落の皆さんの絶え間ないおちからに たただだ頭が下がるばかりです。いつまでもいつまでも大切になさってください。



恵那市坂折棚田保存会さんが写真3件を追加しました。

8月18日 6:37

今日は雷と雨がひどい日でした。そして、今もひどい雷。稲妻が何回も光っています。稲妻を『稲』の『妻』と書くだけあって、雷が多い年は豊作になるそうです。田口理事長が教えてくれました。雷が多いときは、降水量や日照が多い、気温が高いなど、稲の生育に都合がいいのだとか。また、雷の空中放電により、空中の窒素が分解され、それを雨が地中に溶かしこみ、稲の栄養になるともいわれています。怖い雷ですが、稲にはありがたいものなのですね。



いいね!34件 コメント1件 シェア1件

来年の春にはホームページも新しくなるよ！

石積み塾！

11月4日、5日に石積み塾が行われました。傷んでいる石積みを、崩して新たに積みなおすのに合わせて、石積みの技法を塾生に教える石積み塾を毎年行っています。名古屋城の石垣を築いた石工職人集団「くろくわ」によって築かれたと伝えられる坂折棚田の美しい石積み。その石積み技術を塾生たちは熱心に学んでいました。



お知らせ！

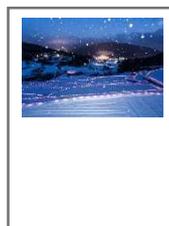
●平成 30 年版「坂折棚田カレンダー」・「年賀はがき」ができました

「第 11 回恵那市笠岡地域・坂折棚田フォトコンテスト」入賞作品を使用しカレンダーと年賀はがきを販売しています。売上げは棚田の保全活動に使わせていただきます。地域の里山及び棚田の美しい景色を守るため、是非ともご利用いただきますようお願い申し上げます。



カレンダー
1部 1,000円
【正会員価格 800円】

棚田カフェ「ペンペン草」、
中野方振興事務所などで
販売中



年賀状
1枚 80円

棚田カフェ「ペンペン草」、
で販売中

郵送希望の場合は、保存会事務所にお申し込みください。

(送料・振込手数料はご負担願います)

ご注文はなるべく FAX でお願いいたします。FAX 0573-23-2046

●炭焼き塾のご案内

1月20日に原木割りと火入れ、2月17日に炭出しを開催します。今日のように石油がなかった頃は、木炭は燃料の主流でした。しかし、今ではその伝統的な技術も失われつつあります。そこで炭焼き技術の習得と伝承を行うため、炭焼き塾を開催しています。ぜひご参加ください。

●農業で観光を活性化！農林水産省の交付金で誘客（宿泊推進）に取り組みます

坂折棚田保存会が中核となり、中野方農泊推進協議会を立ち上げ、里山の資源を生かした情報の発信に力を入れ、地域の活性化を目指します。

●LED ライトアップはじまりました！

太陽光発電の自然エネルギーを利用した LED を使用しており、日没後、辺りが暗くなるにつれ点灯してゆく様子はとても幻想的です。ぜひご覧ください。

会員、オーナー、地域の皆様のご協力のおかげで

今年も、東京、滋賀、愛知など遠方から大勢のお客様がお越しくださり、美しい坂折棚田で、写生をしたり、散策したり、写真を撮ったりとのんびりと過ごしてみえました。この美しい坂折棚田を今年も守り続けられたことは、皆様のご協力のおかげです。ありがとうございます。今後ともよろしく申し上げます。



NPO法人恵那市坂折棚田保存会

電話：0573-23-2032 * FAX：0573-23-2046 * 携帯：080-1553-0315

E-mail: sakaori-tanada@ial.itkeeper.ne.jp ホームページ : 坂折棚田

検索